

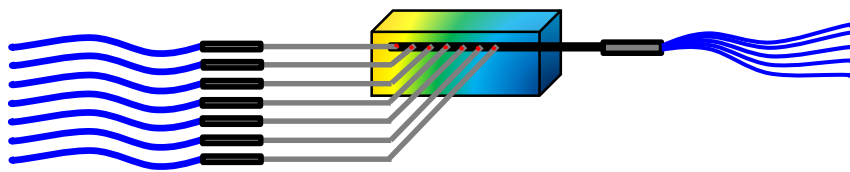
多点式温度センサの開発

実証試験セクター 沼尻 治彦

温度分布測定等での配線処理の簡略化および測定対象への影響の抑制効果を狙い、 $\phi 1\text{mm}$ のステムの中に**最大7点の測定点**を設置可能な温度センサの開発に成功しました。

内容・特徴

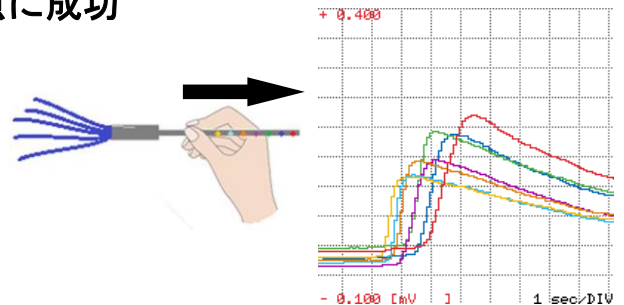
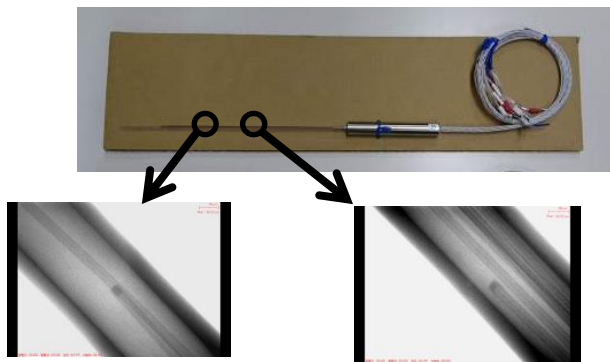
◎測定対象物の温度分布測定などの“**多点計測**”



極細の強みを活かし、
1本の鞘で多点計測

複数点の測定では配線が煩雑

◎ $\phi 1\text{mm}$ の管内に測定点の設置、最大7点に成功



手が触れた順に感知

従来技術に比べての優位性

- ① $\phi 1\text{mm}$ のステムの中に7点の測定点
- ② 配線の簡略化による施工の簡易化、測定対象への影響抑制

予想される効果・応用分野

- ① 原子力発電 チャンバー内の温度管理
- ② 薬品・医療 アブレーションカテーテルなど
- ③ 環境・省エネルギー 排ガス処理用ハニカム内温度測定

提供できる支援方法

- 依頼試験
- 技術相談
- オーダーメイド開発支援

文献・資料

- 文献・資料

[1] 沼尻 他: TIRI クロスミーティング2016 要旨集, p. 62 (2016)